

和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 博士後期課程

令和8年度入学試験

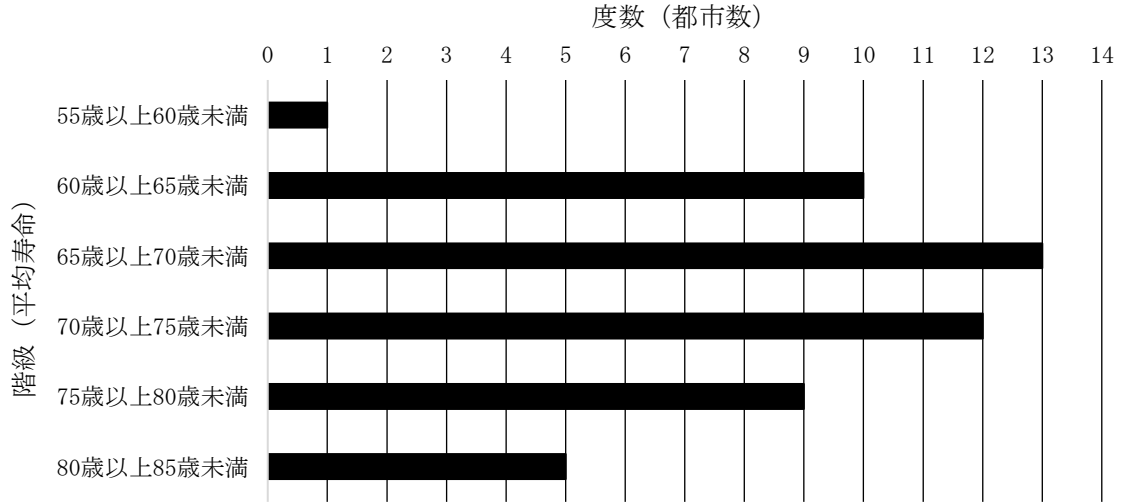
専門科目 問題冊子

注 意 事 項

1. 受験番号と氏名を解答冊子の表紙の指定の場所に記入しなさい。
指定の場所以外に記入してある場合は、全答案を無効とします。
2. 解答は所定の解答欄に横書きで記述しなさい。
3. 問題冊子の最後にある下書き用紙は問題冊子から切り離しても構いません。
4. 提出するのは解答冊子だけです。問題冊子は持ち帰りなさい。

I. 世界の50都市における平均寿命の分布を図1に示す。以下の設問に答えなさい。

図1 50都市における平均寿命の分布



設問1 このデータにおける中央値が含まれる階級および第1四分位数が含まれる階級をそれぞれ答えなさい。

設問2 調査を行った50都市の1つであるA市の平均寿命は78.2歳であった。A市の平均寿命が属する階級における階級値および相対度数をそれぞれ答えなさい。

II. 以下のa、b、c、dに入る番号を から選択しなさい。

- (1) 尺度の(a)を推定するために、同一の集団に対して同一の検査を2回繰り返して、2回の得点間の相関係数を算出して検討した。
- (2) (b)を検証するために、専門家の意見を基に何度もデータを吟味し、必要時にメンバーチェックを行った。
- (3) (c)とは、ある尺度やテストの得点が、測定対象の特性をどれだけ正確に捉えているか、他の関連する尺度との比較を通じて検証するものである。
- (4) (d)とは、測定結果が理論と一致しているかを検証する方法で在り、手法として探索的因子分析や確認的因子分析が用いられる。

①内容的妥当性	②観察法	③テキストマイニング	④デルファイ法
⑤投影法	⑥信頼性	⑦構成概念妥当性	⑧基準関連妥当性

III. 下の表は母の年齢階級別にみた出生率の推移である。以下の設問に答えなさい。

女性の年齢（5歳階級）別出生数および出生率の推移

年次	1960 (昭和35年)	1970 (昭和45年)	1980 (昭和55年)	1990 (平成2年)	2000 (平成12年)	2010 (平成22年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)	2023 (令和5年)
総数 ¹⁾ 実数	1,606,041	1,934,239	1,576,889	1,221,585	1,190,547	1,071,305	840,835	811,622	770,759	727,288
15～19歳	19,739	20,177	14,590	17,496	19,772	13,546	6,948	5,542	4,558	4,352
20～24歳	447,097	513,172	296,854	191,859	161,361	110,956	66,751	59,896	52,850	47,195
25～29歳	745,253	951,246	810,204	550,994	470,833	306,910	217,804	210,433	202,505	189,338
30～34歳	300,684	358,375	388,935	356,026	396,901	384,386	303,436	292,439	279,517	265,109
35～39歳	78,104	80,581	59,127	92,377	126,409	220,101	196,321	193,177	183,327	173,523
40～44歳	14,217	9,860	6,911	12,587	14,848	34,609	47,899	48,517	46,338	46,020
45～49歳	942	548	258	224	402	792	1,676	1,617	1,658	1,745
率(‰)										
15～19歳	4.3	4.5	3.6	3.6	5.5	4.6	2.5	2.1	1.7	1.7
20～24歳	107.2	96.6	77.0	44.8	39.9	36.1	23.0	20.8	18.5	16.8
25～29歳	181.9	209.3	181.4	139.8	99.5	87.4	74.7	72.2	69.6	65.0
30～34歳	80.1	86.0	73.1	93.2	93.5	95.3	97.3	96.2	93.9	90.8
35～39歳	24.0	19.8	12.9	20.8	32.1	46.2	55.3	55.5	53.8	52.4
40～44歳	5.2	2.7	1.7	2.4	3.9	8.1	11.8	12.4	12.2	12.5
45～49歳	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.4	0.3	0.4	0.4

厚生労働省『人口動態統計』による。

年齢別出生数は母の年齢が15歳未満のものは15～19歳に、50歳以上のものは45～49歳に加えた。

率算出の分母人口は、該当年齢の女性人口、総数は15～49歳女性人口。

1) 年齢不詳を含む。

設問1 この表から出生率の推移について読み取れることを述べなさい。

設問2 少子化の原因を分析するために、この表以外に必要な情報は何かを10項目以上述べなさい。

IV. 下記の語群から2つ選び、説明しなさい。

1. 合理的配慮
2. リンキング・ピン (Linking pin)
3. アピアランスケア (Appearance care)
4. プラネタリーヘルス (Planetary health)
5. クラッシュシンドローム (Crush syndrome)
6. シェアード・デシジョン・メーカー (Shared decision making)

V. 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

著作権保護の観点から
この部分は掲載しません。

著作権保護の観点からこの部分は掲載しません。

讀賣新聞 2025年(令和7年)7月15日(火曜日)朝刊より抜粋一部改変

- 設問1 介護離職が起こる要因に何があるか述べなさい。
- 設問2 介護離職しないために必要な支援について述べなさい。
- 設問3 本文の内容を参考に、日本の介護における今後の課題について、あなたの考えを述べなさい。